平成１７年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

（整理番号） ８５ ※記入不要	提案機関名	かながわ農業アカデミー

要望問題　シクラメンの芽点増加に及ぼす施肥管理の影響について

要望問題の内容　【　背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等）】

シクラメンの葉枚数増加は品質向上の大きな要因となる。さらに、葉枚数増加は育苗期に形成される芽点の分化数の増加により倍増する。

育苗期に多くの芽点を確保しておけば、夏までの管理に失敗しても、葉組み等によりある程度の葉枚数を持った株に仕上げることも可能である。

そこで、育苗期の芽点増加に及ぼす施肥管理の影響について検討をお願いしたい。

（N 量、P 量の影響が一般に言われているが確かなデータがなく再現試験もなされていない）

解決希望年限	①１年以内　[②２～３年以内]　③４～５年以内　④５～１０年以内
研究対応区分	[①研究所対応]　②委託研究　③共同研究　④その他
対応を希望する研究機関名	[①農業総合研究所]（ ②根府川試験場　③三浦試験場　④津久井試験場 ） ⑤畜産研究所　⑥水産総合研究所（ ⑦内水面試験場　⑧相模湾試験場 ） ⑨自然環境保全センター

※　ここから下の欄は、回答者が記入してください。

回答機関名	農業総合研究所
部　　署：生産技術部	
対応区分	①実施　[②実施中]　③継続検討　④実施済　⑤調査指導対応　⑥現地対応　⑦実施不可

試験研究課題名　（①、②、④の場合）

作物の生理・生態特性の解明に基づく栽培技術の確立

対応の内容等

平成１５年度も生育停滞の原因解明の試験を行いましたが、はっきりとした結果は得られませんでした。引き続き原因究明及び植物調整剤散布などによる回避試験を行う予定です。

解決予定年限	①１年以内　②２～３年以内　[③４～５年以内]　④５～１０年以内
備　考	